

# 図書館だより



2009年度第2号（2009年10月号）

編集・発行 専修大学大学図書館

## 個性に輝く図書館の魅力

図書館長 北嶋 隆博

たいぶ前の話であるが、ニューヨーク州立図書館を訪れたことがある。「しばらく図書館に就いていたが、開館の人びとと気づくとそれは通読の書架室、ホームであった」という誰かのエッセイを読んだ記憶があった。ホームは「人間の家」という作品の中で、人生はベレンヤ城のような絶頂屋敷と述べている。その屋敷でいうことが人生はひとつの絶頂屋敷にすぎず、屋敷によって人はそれぞれの絶頂屋敷をひとつひとつ築き込んでいくものだ、というのである。

深くは古本作者と邂逅することもなく、絶頂本の絶頂屋敷に臨んで、外から眺めのかかる屋敷に入ってももうことななかったけれど、家園が渡る絶頂屋敷の書架室にたどり着いた。

いうまでもなく大学図書館の主眼は在学生読者である。主人公が筆者を待てない大学図書館は、たまたまの書物を死蔵しているにすぎない。日に一度、本学の学生全員が使者をもって足を運ぶような図書館としてのオマツナリアディーやアイアンディディーを持ちたいと考えている。

大学図書館の使命には、活字図書館、学芸図書館、電子図書館などを併せ持つことなどがあろうが、主人公の学生読者の数字のために、学芸図書館機能もますます充実していきたいと考えているので、学生側からの希望図書館などもどんどん読んで欲しいと思っている。

図書館家サリンジャーの作品『ライオンはつかまえて』は深くの好きな作品である。この作品の主人公は『ライオン捕獲の助手』になりたっていた。というエピソードがでてくる。行き先も見極めずに、ライオンを日本近海に送りつけて、その獲物は自分の絶頂屋敷から戻っこともそうなる子供たもを、その絶頂屋敷の隅に立て、一日中キャッチしてやる『ライオン捕獲の助手』になるのが主人公ホルムズの唯一の憧れというのだ。

卒業論文、レポート、卒業等の作成に苦心している時、ある日一日午の予習や定期試験勉強室に勤しんでいる時、図書館は一種の“The Catcher in the Rye”の冒険を誘う強い魅力となってくるものと信じて聞かない。

本学は、開学8年目の地方の小さな大学である。本学のモデルは米国で発達してきた、リベラル・アーツ・カレッジであり、キリスト教主義に基き、国際主義的な大学形成を目指し、豊かな創造力をもった人間性を育てる教育教育を実践している。

その大学図書館を個性に輝くものとするにはどうすればよいか？ キリスト教主義、国際主義、地方主義、その他の特長を磨き磨きしていく必要があると考える。地味と結びついた、地元の人びとにも受け入れられる図書館を目指している。卒業の日々からも本学の図書館で『人間の絶頂屋敷』を味わってほしいと思っている。

## マイ・ライブラリー・モード

サンフォード・コールスタイン

私の学生時代からハーヴェー大学の教授であった私のことを回顧すると、図書館は私の人生と強く結びついていたように思えて、懐想の念にかられます。毎日の朝、念の図書館の特別閲覧室の小さい椅子に私はは、まるで魔界にかけられたように眠るが如くして、あるご婦人が雑誌の本を読んでくれるのを、黙然して書き目を立てておりました。

中文学科の図書館のカードファイルは不可思議で独断的で、私には使いこなすには困難でした。高校に在ると、自宅の近くのタリーブランドの月読書館の小さな分館でバイトをいたしました。私の仕事は主に書架の整理であって、つまり、書架をアルファベット順にあるいは当時の図書館システムに従って整理することでありました。行けても特別閲覧室は書物が豊富にあって、どのテーブルの上にも本が山積みしてあり、書架といえば、よみがけ「舞臺」が吹き飛ばしたような状態で、私に整理する意欲をおさなされてくれました。

ハーヴェード大学、ロサンゼルス及びカリフォルニア大学、デキサス大学、それにハーヴェー大学やインディアナ大学など、私はアメリカでも多数の図書館を訪問した経験があります。二歳のライオンの子猫が入り口をガードしているニューヨークの図書館は、私があつとも興奮した図書館です。私の博士論文執筆のために、アーサー・オンショナシの有名な詩集の詩句を標榜するためにこの図書館を訪ねましたが、なんとその題を誤っているではありませんか！おまけにオンショナシの書いたクプレターのマイクロフィルムまで見つけたのです。これらの発見をしたのは私が読書の時でした。

私は図書館のことを個人的な体験にもとづいて考えるのが好きです。そのふりになると、私の

好きもりのたい極性は別問題でした。活動する世界からの一極の過激さといえるかも知れません。大学院生であった時期には、私は図書館の書架の前に見通の中央を見つめました。机には小さな電気スタンドがついていました。古書の匂いが立ち込めるその場所でこそ平涼の晩年に集中できるのです。院生の年の明けは、ワイスコンソン大学の中央図書館の大きな机製のテーブルは、まさに絶倫の読書向きを私に与えてくれました。ハーヴェード大学図書館では、伝統的な学生生活の人生にいくよん享受である書物の中の言葉に私は驚かっているように感じました。図書館では、問題をこなし、研究をすすめ、突然と退席したり、帰来したり、私が去年手にかけてきた、図書館の第一巻の巻頭の一面面を買い取りました。

同今、私は東洋大学図書館の小さな書かれた机にひとり座って、授業で教える主題について、毎年更新されてきた詳細にわたって調べることがあります。敬和のとても豊富な図書館に入ると、私は図書館では何を言へない、聞かない。他の学生たちと目論み合わないという傾向を察知しました。図書館は書物と思想にあるある静寂な場所です。そこに入ると、人間はちよつぱり機能的な、そしてちよつぱりロマンチックなものにさえ思えたものでした。 【北原隆博訳】

## 野中 純 著「草葉の輝き」を読んで

読者 吉尾

「何とかがっばくで、空想的で、この手の文章は男子的な。」はとめ平んな印象をもってこの作品を読みはじめた。書籍のセロインが、無意識の状態で「草葉」へ行きたるという書名はなし明な設定も消滅し抱持ちておいた。しかし知らぬい間にこのお伽はなしのような世界に入り込んでいった。読者のえとめめ々々を感じ、考えていた自分に驚いた。

まず第一の感想は「平穏な読書向をもった話だった」ということ。子供の動物園を巡る冒険に

感じたり不安定な感覚、いろいろな感覚があり、それには明確な答えはなく、自分で感じ、考える。——主人公にとって早期とは何なのか、家庭や過去は何を意味するのか——私にはまだわからない面が多くあり、これから何度も読んで解明していこうと思う。読むたびに何か発見がありそうな作品だ。

第二次世界戦後の存在のテーマの深さに感動したということ。この作品は「死んでも生きる、私たちが一生懸命生きていた限り愛したものは生き続ける」という、英語とキーマンの語から取られたテーマがある。このテーマをもとに、辛い過去に縛られて生きる主人公が自分の弱い面にも向き合い、心に秘めていたもう一つの魂をもつて、善と悪の両面が宿っている。この作品の中には「善と少し行きますれば……」という言葉が多く出てくる。程程深く善はいつも、悪んでいた所ではないのだが、その善を主人公は受け入れる。これは私たちの生活にも当てはまる部分があると思う。何か目標があって進んで行き手に入れる。しかし本来の意味で満足することはなかなか無い。それでも私たちが必ずまた歩み始める。そんな生きるための面白さな自由この作品から感じることができた。

この作品は不思議な空気をもっていて、生きる方を示してくれる。また少し心が癒されるような温かくゆったりとした世界にもなる。

私はそんな作品に出会えてよかったですと思う。

(本学研究生)

## 新書図書

### 哲 学

- 札幌アースリク監修『日本近代思想—キリシタン』
- 歴史
- 荒川幸平監修『宮崎駿の歴史』(歴史945)
- 石田英徳監『日の丸・志が丸』を越えて』
- ルーモン・アロン『ルーモン・アロン 回顧録①』
- ルーモン・アロン『ルーモン・アロン 回顧録②』
- 東の原監『現代人文学の創刊経緯—スーパ—

### 海城書院から』

### 社会科学

- 河野清『現代政治学4—教育』
- 夜々木孝治『現代政治学』
- 吉本俊徳編『近代日本文化論—知識人』
- 河野清『政治学概論』
- 飯本義典『権と人間—権と対決する政治学』
- 飯本義典『権と人間—権を越える世界へ』
- 飯本義典『『王宮の法學論』』
- 石田英久『政治学—人のための政治学入門』
- 飯本義典監修『ドイツ政治』
- 藤田隆一『政治と経済』
- 飯本義典『人の一生と政治』
- 飯本義典編『政治の政治学』
- 飯本千雄『政治学概論』
- 飯本義典『政治学入門を創る』
- 飯本千雄『権威の権威と政治学』
- 飯本義典監『日本の政治と経済—政治学の政治学』
- 飯本千雄『日本と政治学』
- アラン・アール監『コマンチール 回顧録①—上—回顧録①』
- アラン・アール監『コマンチール 回顧録①—下—回顧録①』
- 西川吉夫『政治学と経済—政治学』
- 千原和郎『知識人と政治学』
- 河野清『政治学概論—1981—2008年における知識と権威』
- 石田英久監『21世紀の政治学』(海城書院大学 地域研究センター—調査)
- 林文雄『政治学』
- 全国社会保険労務士会連合会編『労働関係の政治学』
- 中西隆夫『労働関係論』
- 全国社会保険労務士会連合会編『労働関係の政治学』
- 吉原隆雄編『新・労働関係ハンドブック第4巻—労働関係の政治学』
- 竹内洋子『権』(もの人間の文化史 999-3)
- 本野文彦『本野文彦著作集 第1巻—日本の戦後政治学—歴史・学問の今々の書』

## エッセイ・翻訳

○アリアドネ編『思考のためのインターネット』

## 本 字

Parsons, Jolynd. *The New Oxford Dictionary of English*.

Unge, Leonaslied. *American Writers Selected Authors*, Vols. 1-3.

Kilvert, IanScotted. *British Writers Selected Authors*, Vols. 1-3.

○池田雄行校訂・訳『新編 日本文学大辞典 第一巻 国文学編』

○英語青年史料協同会『英語青年』(第1巻・第1回巻)

○英語青年史料協同会『英語青年(巻末)』

## 著 書 目 録

### 目 次

○編者推薦『輝に生きる』

### 歴 史

○編者選『中絶の歴史1— 単身から歴史へ—

○編者選『中絶の歴史2— 中絶の経緯—

○編者選『中絶の歴史3— 大衆— 時代—

○編者選『中絶の歴史4— 渡辺節子と我—

○編者選『中絶の歴史5— 数々の苦悩—

○編者選『中絶の歴史6— 世界を回へ—

○編者選『中絶の歴史7— 経済の興亡—

○編者選『中絶の歴史8— 家と子の関係—

○編者選『中絶の歴史9— 母の心からの成長—

○編者選『中絶の歴史10— 夜霧と朝陽—

○編者選『中絶の歴史11— 明から読へ—

○編者選『中絶の歴史12— 読者二百余年—

○編者選『中絶の歴史13— 判例と批判—

○編者選『中絶の歴史14— 中絶の経緯—

○編者選『中絶の歴史15— 一年史— 歴史観— 事件—

### 社会科学

○貞生次郎『サンフランシスコにおける日本人児童保護問題』(筑波大学蔵書 別冊)

## 本 字

○定宇訳訳『乱世のために』

## 書籍書目録

○北知中治学芸のご賞賛によるREFORMA REPORTERがSPECIAL-COMMODの特別寄贈の同書館に配属された。教職員の本学卒業生の研究の成果がそこに採録され、学生議員がそれらも同様にしてによって採録する機会を得れば、必ずや知的好奇心をそえられることであろう。のみならず、学内から本学を訪問される先生方や保護者、地元の一帯外通者、さらには経済下の高校生たちに対しても採録を乞ふ。かつ本学のバリエーションにもつなげるものとする。

○春日下巻に『マイクローリーダー』一巻が配属された。マイクローフィルム・マイクローフィッシュの発行者は主に教職員に知られようが、研究用に、あるいは卒業論文の資料提供にご利用いただきたい。

○ゴードンデザイン(巻末)には、『マイ・ライブラリー・ムード』と題したエッセイのなかで、ご自分の幼少時代からの思い出をのべて、図書館の歴史や役割がいかに大きな存在であるかを語って語いた。博士論文を執筆中に、ニューヨーク州立図書館で、オシローナシの討議の4冊本を閲覧したときの先生の働きと語りを知り得る文庫である。

○英語青年紀事には『早期の歴史』の歴史文を掲載して語いた。巻末の巻中巻末は、1984年、新編転生まれの若い作家で、『アモザ・アイス』で雑誌『読書』新人文学賞を受賞。若手誌に先生にお目撃して、『青年文学誌協会』を出版している。

○巻末中の採録者は、レポート資料などのための書籍採録者というより、自分の研究の採録の資料を採録して、復して採録する者が採録された。毎日、採録のパソコンは増えおらずのフル稼働で、学生議員は『チャットアップ』をエンジョイしている様子であった。採録試験を採録する予定ならば、第2〜3回巻末を見て、2次試験の採録と対策に注意がなかった。

(17)